

山口大学 情報学部の紹介

2026年4月から、工学部知能情報工学科
を改組し情報学部を設置します





2026年4月から、工学部は
「**工学部**」と「**情報学部**」
に新たに生まれ変わります！



工学部

機械、土木、化学、電気の4分野を柱とした**創成工学科**
と建築分野を柱とした**建築学科**の2学科に再編します。



情報学部

現行の工学部**智能情報工学科**を改組し**情報学部**
を設置します。



工学部再編の全体像

現在

工学部 7 学科

入学定員：530名

学科
機械工学科 (定員 90名)
社会建設工学科 (定員 80名)
循環環境工学科 (定員 55名)
応用化学科 (定員 90名)
電気電子工学科 (定員 80名)
感性デザイン工学科 (定員 55名)
知能情報工学科 (定員 80名)

令和8年4月

工学部 2 学科

入学定員：410名

学科	系	コース
創成工学科 (定員 355名)	機械系 (目安定員 90名)	航空宇宙エネルギーコース
		知能機械デザインコース
		メディカルデバイスコース
	国土・環境デザイン系 (目安定員 80名)	社会基盤コース
		環境・防災コース
	化学系 (目安定員 105名)	エネルギー創成コース
		創薬・バイオコース
		環境・プロセスデザインコース
	電気電子系 (目安定員 80名)	電子デバイス工学コース
		電子システム工学コース
建築学科 (定員 55名)		建築サイエンスコース
		建築都市デザインコース

情報学部 1 学科

入学定員：120名

学科	コース
情報学科 (定員 120名)	人工知能コース
	情報システムコース
	ジオ・インテリジェンスコース
	人間情報学コース

情報学部(情報学科)

養成する人材像

情報学部では、
情報専門技術に関する知識と技能、
学際的な素養と人間中心の視点を備
え、新たな社会課題を発見し、先進
的な情報処理技術と複眼的視野で課
題解決や価値創造に挑戦する強い意
欲と思考力を有する**先端IT人材**を養
成します！



情報学部 情報学科

人工知能コース ジオ・インテリジェンスコース
情報システムコース 人間情報学コース

2026年4月開設予定

情報のチカラを
人へ、社会へ、未来へ



YAMAGUCHI UNIVERSITY
山口大学



情報学部(情報学科)

4つのコース

情報システムコース

最新の情報システム技術とセキュリティ技術を修得し、社会課題を解決する社会のニーズを具現化するシステム開発ができる**情報システムアーキテクト、情報セキュリティスペシャリスト**などを目指します。

人工知能コース

データサイエンス・AIの未踏の領域を切り拓き、人間と機械が共に発展する共進化する社会を創る**データサイエンティスト、AIエンジニア**などを目指します。

ジオ・インテリジェンスコース

宇宙利用技術や地理空間情報の専門知識と最新の情報処理技術を修得し、これらを駆使した新たな価値やビジネスを創出できる**地理空間情報エンジニア、リモートセンシングエンジニア及びデータサイエンティスト**などを目指します。

人間情報学コース

心理・認知科学・人間工学と情報を融合し、人間とテクノロジーが共生するデジタル社会を切り拓く**UI(User Interface)/UX(User eXperience)デザイナー、xR (Cross Reality) エンジニア**などを目指します。

4年間のカリキュラムの概要

情報システムアーキテクト,
情報セキュリティスペシャリスト

データサイエンティスト,
AIエンジニア

地理空間情報エンジニア,
リモートセンシングエンジニア,
データサイエンティスト

ユーザインタフェース/ユーザ
エクスペリエンスデザイナー,
XR (VR/AR/MR) エンジニア

養成する人材

情報専門技術に関する知識と技能、学際的な素養と人間中心の視点を備え、新たな社会課題を発見し、先進的な情報処理技術と複眼的視野で課題解決や価値創造に挑戦する強い意欲と思考力を有する先端IT人材

学部4年

卒業論文

コース専門科目

・広く4分野の授業科目を学修させることで、幅広い複合的な知識を育成
・コース毎に、各コースが対応する分野の専門家となるために必要な科目を必修科目として指定することで、それぞれのコースが目指す専門人材としての深い知識・技能を育成

システム情報学

知能情報学

空間情報学

人間情報学

学部3年

コース選択
(2年次後期)
(目安定員:各コース30名)

情報システムコース

人工知能コース

ジオ・インテリジェンス
コース

人間情報学コース

学部2年

学科共通科目

・情報技術者としての基盤となる知識と技能を育成

数学基礎

計算機科学

データサイエンス

情報学基礎

学部1年

共通教育科目

・様々な学問分野に関する幅広い教養を身に付け、他国や異分野の人間と交流するための基礎的な素養を育成

教養コア、英語、一般教養(山口大学共通の教養科目)

専門基礎(数学)

数Ⅲ未履修者
補講サポート

大学入試



教育の特色

情報学の「**広さ**」と各分野の「**深さ**」
を両立した専門性と幅広い知識を
身につける教育を行います！

-  情報人材としての基本的な知識・技能を学びます。
-  「システム情報学」「知能情報学」「空間情報学」
「人間情報学」の4つの専門分野を広く学びます。
-  コースごとのカリキュラムにより各分野のスペシャ
リストになるために必要な知識・技能を学びます。

ディプロマ・ポリシー

山口大学情報学部情報学科では、情報専門技術に関する知識と技能、学際的な素養と人間中心の視点を備え、新たな社会課題を発見し、先進的な情報処理技術と複眼的視野で課題解決や価値創造に挑戦する強い意欲と思考力を有する先端IT人材の育成を目指します。この実現のために、山口大学のディプロマ・ポリシーのもと、以下を情報学部情報学科のディプロマ・ポリシーに定めます。これらを満たした学生に対して、「学士（情報学）」の学位を授与します。

[1] 幅広い教養と汎用的技能

1. 人文科学、社会科学、自然科学、数学及び情報リテラシーに関する幅広い教養を身に付け、様々な視点から物事をとらえて柔軟に思考できる。[DP1-1]
2. 国際的に通用する情報専門技術者として必要な語学能力を身に付け、自国・他国を問わず、他者と円滑にコミュニケーションをとることができる。[DP1-2]

[2] 専門的な知識・技能

1. 情報専門技術者として基盤となる数学、情報学、データサイエンス及び計算機科学の基礎に関する知識と技能を身に付け、それらに関連分野の新技术や新サービス開発のために活用することができる。[DP2-1]
2. 情報専門技術者としてシステム情報学、知能情報学、空間情報学及び人間情報学に関する幅広い知識と技能を身に付け、人間中心の視点を備え、先進的な情報処理技術と複眼的視野で課題解決や価値創造につなげることができる。[DP2-2]
3. 情報基盤技術、情報処理技術、データ分析技術に関する基礎知識と応用力を身に付け、社会の多様な課題の背景を理解できる。[DP2-3]
4. 情報系人材としての基礎的な知識を背景に、情報処理の専門家としての知識と応用力を身に付け、社会の多様な課題を修得した専門知識と技能を応用して解決できる。[DP2-4]

[3] 自律・協働する力と物事をかたちにする力

1. 情報専門技術者として社会に対する責任を自覚し、安全性を含めて社会へ及ぼす影響等を多面的に考慮できる。[DP3-1]
2. 物事を論理的に思考し、分かりやすく口頭及び文書で表現できる。[DP3-2]
3. 広く社会で活躍するために、自己を管理し倫理観をもってチームワークで協働する力を身に付け、情報及び情報関連分野の知識と技能を活用しながら、物事をかたちにすることができる。[DP3-3]